事例６　中学校　第３学年国語科学習指導案

単元名

　「人工知能との未来」、「人間と人工知能と創造性」、二つの文章の比べ読み

（教科書会社：光村図書出版株式会社）

授業展開　全４時間中の第２時

(1) 授業のねらい

二つの文章を比較しながら、それぞれの文章について情報を整理する。

(2) デジタル教科書を活用するねらい

|  |  |
| --- | --- |
| 拡大して細部まで確認する。  音声を聞く、動画を視聴する。  考えを共有・発表する。  習熟度に応じた学習を行う。 | 自分の考えを書き込む、整理する。  教育的ニーズに合わせて学習する（ルビの活用など）。  ＩＣＴ機器と連携する。 |
| その他（　　　　　　　） | |

(3) 本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 学習活動 | ○指導上の留意点　☆評価  ■子供がデジタル教科書を使用する場面 |
| 導入  ５分 | １　本時のねらいを確認する。 | 〇ねらいを提示し、活動内容を考えさせる。  文章を的確に読み取り、情報を整理してまとめよう。 |
| 展開 | ２　課題追究を行う。 | 〇学習者用端末の活用方法等は極力説明しない。 |
| 約15分 | **Ａ＜個別に追究する時間＞**  活動内容：筆者の立場、事例と考察、主張が分かるように整理する。  方法：■デジタル教科書にサイドラインを引いたり、「マイ黒板」※を活用したりしながら、  自分の学びやすい方法を選択して学習する。  指導上の留意点：指示①「５分後と10分後に友達が学習者用端末に入力している内容をスクリーンに映します。参考にしたい人は、確認しましょう。」  評価：☆積極的に二つの文章を比較して読み、情報を整理しようとしている。 | |
| 約10分 | **Ｂ＜共有する時間＞**  活動内容：個人で整理した内容をグループで確認する。  方法：■学習者用端末の画面を見せ合い、互いの考えを確認し合う。  指導上の留意点：指示②「友達の意見を、自分とは違う色のペンで画面に書き込みましょう。」 | |
| 約15分 | **Ｃ＜深める時間＞**  活動内容：Ａ・Ｂの活動を踏まえて、ワークシートの表に読み取った内容をまとめる。  方法：紙かデジタルのワークシートを選択し、まとめる。  指導上の留意点：指示③「自分と友達の考えの共通点や相違点、新たに疑問に思ったことを、ワークシートにまとめましょう。」 | |
| まとめ  ５分 | ３　本時で学習した内容をペアで報告するとともに、ワークシートにまとめたことを確認し、本時の学習を振り返る。 | 〇ワークシートにまとめたことの中から数名の意見を取り上げる。 |

※　光村図書のデジタル教材である。デジタル教科書の画面上にある本文や挿絵・写真を抜き出して、自分の考えをまとめられる機能のこと。